

鶴嶺小学校区推進協だより

第61号 2024年2月25日(令和6年)

編集・発行

鶴嶺小学校区青少年育成推進協議会

事務局：矢畑 717 山上 壽子 TEL (83) 1953

つるのこ

地域で育てよう、子どもたち

青少年育成推進協議会とは…地域の皆様すべてが会員です。地域に住んでいる人々が協力しあい連携を取りながら青少年の幸せを願う組織です。小学校区を単位として、青少年にかかわる団体や、地域の人々が中心となり活動しています。

特集

第21回 つるみねふれあいデー

チャレンジつるみね ～めざせ！ちびっこ防災マスター2023～



この度の能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞申し上げます。

私たちは、東日本大震災以降、折にふれて防災をテーマとしたふれあいデーを行ってきました。次に大地震が起こるのは関東地方だと言われ続け、阪神・新潟・東日本と大きな被害を見るにつけ、子どもたちに他人事ではなく自分事として防災を考えてほしかったからです。小学生に出来るのは些細な事かもしれませんが、でも、クイズにしたら覚えていてくれて、いざという時、動けるかもしれない。家に防災グッズが無いと言っていた子どもたちが、自分に持てるだけの物を準備してくれるかもしれない。小さなことの積み重ねで、大災害を乗り越えられるつるのこに育ってくれればと願っています。

水消火器でマト当て



水消火器の扱い方に慣れるのが難しかったようですが、慣れて当たるとくるくる回って楽しそうでした。消火器の本数が少なかったため、水を補充するのが大変でした。



消防車を見よう!!



防火服を着せてもらって消防車の中を見学したり記念撮影したりしました。親子共々笑顔でした。



消防車と綱引き!!
消防車はブレーキ踏んでませんよ

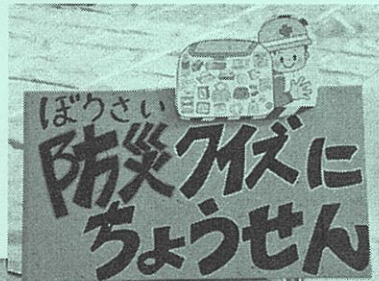


子どもさんも保護者の方も興味津々で、作り方を見ていただきました。実際にダンボールトイレに座り(またがり)緊急時の様子を感じてもらえたようです。

大きな地震の揺れを体験



子どもの学年に合わせて揺れの大きさを変えてくれました。一人で乗ってみたいという子が思ったより多くて驚きました。何度も来てくれる子もいましたが、『初めて来た子を優先に』と言うと、きちんと理解してくれて嫌な顔ひとつせず譲ってくれてとても頼もしかったです。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



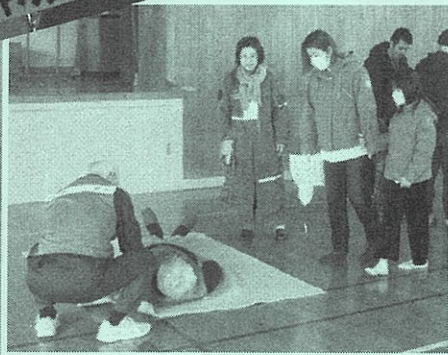
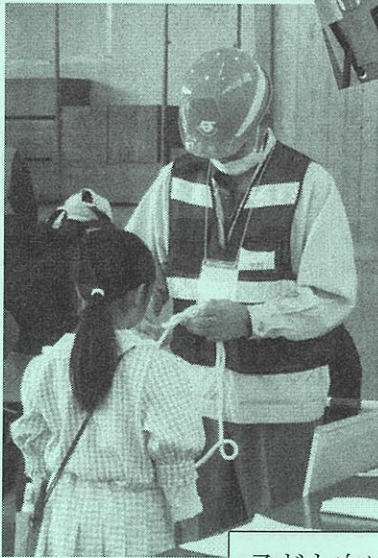
大人が思っている以上に、一つの物からいろいろな発想が生まれていて、普段から防災意識が根付いているなど感じました。



震災時、自分の居場所を知らせるのに役立つ薄型のホイッスルに、シールを貼ったりペンで絵を描いたりしてマイ☆ホイッスルを作りました。出来上がると、小さくピーッと吹いて音の確認をしていました。



常にたくさん子どもたちが参加してくれました。みんな、思い思いの絵を描いてお友達同士の声の掛け合いでたくさんの笑顔が見られました。



防災グッズいろいろ。「防災クイズ」コーナーでやったことと合わせて、マイ防災リュックを作ってみてね。

子ども向けイベントは楽しくていいですね。ロープ結びは大人も子どもも熱心に取り組んでいました。両親を子どもが助けられるかチャレンジしましたが、運び出すのは無理でした。助けを呼びに行くという教訓が得られてよかったです。



学区内にある津波避難が出来る建物やAEDの設置場所などを通学路マップに書き込みました。皆さん興味深く見ていました。

防災食炊き出し体験

防災食としてとん汁を作り、みんなで試食しました。大きな防災鍋で調理するのは初めてでしたが、これで自信ができました。



今回も子ども会サポーターさんにお手伝いいただきました。楽しそうにやってくれて好評でした。



令和5年12月9日 鶴嶺小学校校庭
 参加人数 子ども 101名
 大人 104名
 (市役所防災対策課2名、消防本部予防課4名、
 防災リーダー5名含む)
 合計 205名